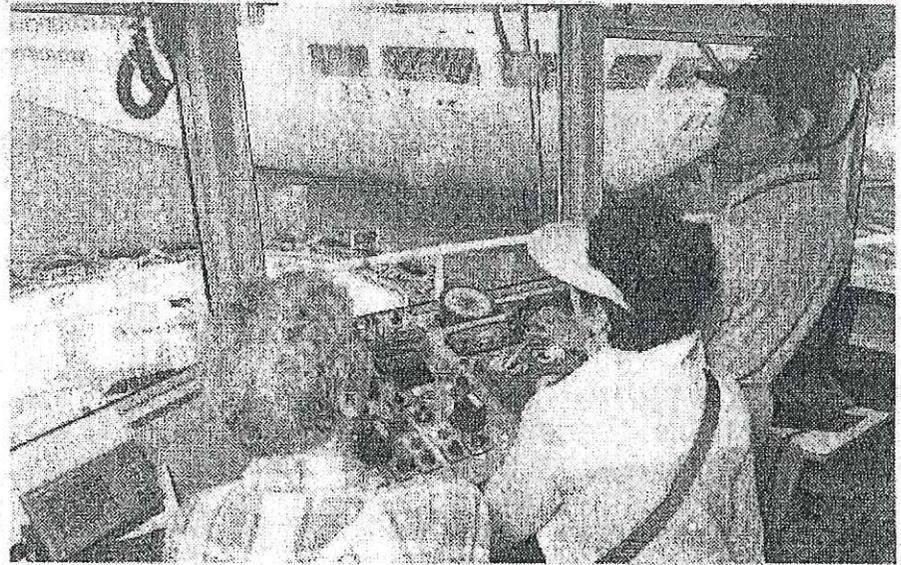


# 小さな力持ちに驚き

## 横浜港 タグボート体験乗船



飛鳥Ⅱを見ながら、吉田船長(右端)からタグボートの役割を教わる参加者 —「翼」操舵(そうだ)室

国内初のバッテリー搭載型ハイブリッドタグボート「翼」(256ト)の体験乗船会が19日、横浜港で開かれた。クルーズのゆたか倶楽部(東京都千代田区)が主催したもので、同社の顧客7人が参加した。

翼は2013年に就航。航行時はディーゼルエンジンと電気モーターを切り替えることができる。ウィンクマリタイムサービス(横浜市西区)が運航し、船長を含む5人の乗組員が横浜港などで大型船の離着岸を支援している。

約1時間の港内周遊では放水銃で毎分6トの水を放水する様子を見学。横浜港大さん橋国際客船ターミナルに着岸中の「飛鳥Ⅱ」(5万142ト)に近づき、海から巨大な船体を見上げた。

年に2、3回クルーズを楽しむ松鹿清さん(80)は茨城県龍ヶ崎市は吉田大朗船長に盛んに質問していた。「こんな小さな船が大きな客船を引っ張る力を秘めていたことに驚いた。客船に乗った際はタグボートを応援したい」と笑顔を見せていた。(三木 崇)